

2. 事業の概要

1 法人本部事務局

(1) 理事会・評議員会の開催

1. 理事会・評議員会

理事会を計12回、評議員会を計5回開催した。学園運営にかかる重要事項を審議し、迅速な意思決定や執行を行い、所定の重要事項についてはあらかじめ評議員会に諮問を行った。

(2) 監査等の対応

1. 監事監査・会計監査人監査・内部監査

監事監査を計2回、会計監査人監査を計12回行った。また、「「選ばれる学園」を目指すための施策への取組み状況について」を監査テーマに内部監査を各部門に対し計4回実施した。内部監査での広報費の会計手続き・処理に係る指摘事項については、該当の部署から迅速に業務是正報告が提出された。

4. 担当理事との懇談

担当理事との懇談を計5回実施した。各校の特徴のある取り組みや、入学者増のための対策等について意見交換し、今後の学校運営の参考とした。

5. 監事による滋賀文教短期大学の研究活動に対する内部統制整備の確認

短大において公的研究費の管理・監査のガイドラインに基づく自己評価を行い、適正な研究活動が行われていることを監事によって確認された。

6. 学校法人監事研修会

監査業務に係る職務の重要性の認識や専門性の向上に資するため、文部科学省よりオンデマンドで配信されている研修を受けるよう呼びかけた。

7. 税務監査

税理士と各部門の事務局長、事務長、事務担当者が毎月月末に税務監査を行い、予算の適切な執行に努めた。

(3) 内部規程等の立案・作成

1. 寄附行為等の変更

各種内部規程を必要に応じて改正したほか、学校法人改革の方向性を見据え、評議員の選任区分・定数の変更、議事録の署名等に係る寄附行為の一部を変更した。

(令和4年1月15日 文部科学大臣より変更許可)

2. ガバナンス・コードの作成・公表

滋賀文教短期大学と連携して滋賀文教短期大学ガバナンス・コードを作成し、ホームページで公表した。(令和4年2月16日作成)

(4) 法人連絡会の開催

法人本部及び設置校幹部が一同に会する法人連絡会を計2回開催した。各校で課題となっている入学者増のための取り組みや、特徴ある教育、新型コロナウイルス感染症対策等の情報を共有し、各校の校務の参考とした。

(5) 新型コロナウイルス感染症の対応

感染拡大防止に係る勤務・休暇の取扱い、コロナ禍における入試業務体制の確保

等について各校へ通知するとともに、法人内の感染状況を文部科学省へ逐次報告した。

(6) 学園内研修の実施

障害者差別解消法の公布に伴い、短大と連携して障害者支援に関わる各校の共通理解を図るため、「社会福祉法人しが夢翔会 大津市発達障害者支援センターかほん 小崎太陽氏」を講師に招き、オンラインで講演会を開催し、117名の参加を得た。

(7) 経営改善計画の実施管理

学校法人松翠学園経営改善計画に基づき進捗管理を行い、令和3年度の実施状況を評議員会で報告した。

2 滋賀文教短期大学

(1) 教育理念と建学の精神

【教育理念】

「教育は人にあり、国家の未来は教育にかかっている。教育の向上には、まず、教員の養成が重要である。」

【建学の精神】

「知育・徳育・体育」の鼎立と調和の取れた人間形成

1. 教育活動

教育理念と建学の精神は、私立学校の根幹であり、全ての教育研究活動に通じていなければならない。

国文学科、子ども学科で開設されている教養科目「基礎力プログラム」等にて、建学の精神の周知及びそれに基づく自校教育や学修成果の涵養に努めた。

更には、令和3年度に実施した令和4年度教育課程改正に際し、教育理念と建学の精神の体现を前提として検討した。また、課程編成の指針となる各学科の教育目的・目標及び3つのポリシーに関しても、これを機会に大幅な点検作業を実施し、教育理念や建学の精神との体系的なつながりを明確に位置づけた。これらは令和4年度に施行される。

2. 学内外への表明

学内に関しては、年度当初の教員連絡会にて、学長講話の時間を設け、専任教職員及び非常勤教員に、学園の沿革、教育理念及び建学の精神、教育目的・目標、学訓について研修を行った。またFD研修会「教育研究活動の方針」を実施し、より具体的に周知を図った。

学生には、入学前のプレキャンパスセミナーを計画する（新型コロナウイルス感染症拡大のため中止）と共に、入学後も入学式での学長式辞やオリエンテーション等にて説明を行った。

学外に関しては、ホームページで広く表明すると共に、各種の地域協議会において周知を図った。

3. 各学科の特徴的取組

【国文学科】

○司書資格取得可能

滋賀県内では唯一、司書の資格を取得できる。また、長浜市との連携協定により、図書館の多彩な業務に対する理解を深める図書館インターンシップを実施している。

○地域社会での学び

図書館インターンシップ以外にも、基礎力プログラムⅢ・Ⅳにおける長浜市余呉地区との連携授業や様々な地域でのフィールドワークなど、地域社会に出での授業・活動を展開している。

【子ども学科】

○ぶんぶんひろば

地域の子育てを学生と一緒に支援する取組「ぶんぶんひろば」を開催（計画7回、実施1回）し、現場対応力や実践力などを育成している。幼児とのふれあいを通して、保育の実践力を向上させる機会になることはもちろん、地域の子育て支援にも貢献している。

○保育士資格・幼稚園教諭二種、小学校教諭二種免許状取得

保育士資格・幼稚園教諭二種、小学校教諭二種免許状を2年間で取得することができる。現役生はもちろん、将来の進路選択、進路変更の一つとして、社会人入学生も多い。入学定員が少ない分、専任教員一人当たりの学生数が約7人と少人数の利点を生かした教育体制を取っている。

4. 卒業者数・学位授与の状況

卒業者数 国文学科25名 子ども学科47名 計72名

学位授与の方針に基づき、国文学科卒業生に短期大学士（文学）、子ども学科卒業生に短期大学士（教育学）の学位記を交付した。

5. 免許・資格取得情報

令和2年度の教員免許・資格取得状況は次のとおりであった。

(単位：人)

	国文学科	子ども学科	合計
小学校教諭二種免許状	0	4	4
幼稚園教諭二種免許状	0	41	41
学校図書館司書教諭	0	2	2
図書館司書	22	0	22
保育士資格	0	39	39

(注) 学校図書館司書教諭は、申請者数を示す。

6. FD (ファカルティ・ディベロップメント) 活動

FD委員会が中心となり、教員の教育力の向上、教育内容等の改善等に取り組んだ。また、新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴い、動画視聴での研修の形態を積極的に取り入れ積極的な研修実施を図った。

- ①学生アンケートの実施
- ②学内研修会の実施
- ③コンプライアンスに係る研修の実施
- ④公開FD研修会の実施
- ⑤授業改善(遠隔授業含)に係る学生との懇談会の実施(授業改善FD)

7. SD (スタッフ・ディベロップメント) 活動

大学職員は、学校法人の運営面、カリキュラム編成や学生支援等の教学面の幅広い分野にわたって、専門的・実践的な能力を発揮することが求められていることから、今年度は5つの研修を実施した。

【令和3年度SD研修実績】

- ・第1回SD研修【入試広報に関するSD】(令和3年5月12日)
- ・第2回SD研修【PROGから見る学生傾向】(令和3年7月22日～動画視聴にて実施)
- ・第3回SD研修【データサイエンスSDFD】(令和3年9月15日)
- ・第4回SD研修【シラバス作成要綱、成績評価基準】(シラバス作成期間動画視聴)
- ・第5回SD研修【改正障害者差別解消法】(令和4年2月9日)

また、びわ湖東北部地域連携協議会の枠組みを活用して、学外の研修にも積極的な参加を促し、大学教職員としての知見を広げることに寄与した。

【令和3年度外部SD(FD)研修参加実績】

- ・SD・FD研修会【ティーチング・ポートフォリオとは？】（令和3年8月23日 聖泉大学実施 本学教職員参加）
- ・SD・FD研修会【コロナ禍におけるメディアを利用した授業、学会、会議等における教材作成方法】（令和3年9月9日 長浜バイオ大学実施 本学教職員参加）

8. 入学前教育の実施

入学予定者に対して、「入学前サポートプログラム」と称し、高校から大学への橋渡しや、基礎学力や学習意欲の向上をねらいとして取り組んでいる。

入学予定者に向けたオリエンテーションである「プレキャンパスセミナー」は、令和2年度から令和3年度の2年間は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から中止としていたが、令和4年度入学生に対しては感染防止対策を講じたうえで実施した。入学直前に各種手続き等の説明を行った後、学習支援、不安の解消、学習意欲の向上に向けた学科別プログラムを実施した。

(2) 学生の状況

1. 学生自治会・課外活動

学生自治会のもとに大学祭実行委員会や各サークルが組織され、学生の活動の中心となっている。なお、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により令和3年度について登録はあったものの、大きな活動実績は無い（数回程度の活動は許可）。令和元年度のサークル数は下記のとおりであった。

◇サークル数

6団体 (91名) ※延べ人数	にじいろサーカス団、バドミントンサークル、陸上サークル、バレーボールサークル、軽音楽サークル、文芸サークル
-----------------------	---

2. 学生への経済的支援

経済的に学納金等の納入が困難な学生に対し、様々な支援で就学の機会を確保している。

① 滋賀文教短期大学奨学金制度

本学の発展に寄与する学生に奨学金を給付した。

奨学生認定数（1年生） I種 0名 ・ II種 5名
奨学生認定数（2年生） I種 3名 ・ II種 10名

② 延納及び分納

学納金の納入が困難な学生に対し、延納及び分納支援を行った。

③ 高等教育就学支援制度

支給要件にかかる大学要件について合致するとされ認定されている。

支給者概要

全額免除 10名（1年 8名、2年 2名）
2/3 免除 5名（1年 1名、2年 4名）
1/3 免除 5名（1年 0名、2年 5名）

④ 同窓会支援

新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響で、学生の「学びの継続」のため同窓会から全学生に図書券1000円分を配布し、支援した。

(3) 進路指導の状況

1. 就職・進路支援

2年生に対しては、遠隔対応を活用しつつ、可能な限り対面で就職支援講座を実施してきた。子ども学科の学生に対しては学内保育就職フェアを計画した。

1年生に対しては、入学直後から就職支援講座を行い、新卒の際の進路・就職先だけでなく、将来にわたったキャリア形成について考えた上で進路選択ができるように指導した。国文学科の学生に対しては業界研究合同企業説明会を実施した。

その他、個別面談を通して、個々のニーズに合わせた就職及び進学への支援、業界及び職種選択の支援をきめ細かく行った。また、インターン等を学校として積極的に取り組ませる制度設計を行い、各学生の就職への意識を高めることに寄与した。

2. 就職・進路結果

令和3年度の就職及び進路結果は下表のとおりである。

○学科別の就職・進路状況（令和4年3月31日現在）

	卒業 者数	一般 企業	児童 養護 施設 ・ 公立 保育 所 ・ 公立 幼 稚 園	公 立 小 学 校 ・ 公 立 認 定 こ ど も 園 ・ 公 立 幼 稚 園	公 務 員 ・ 団 体 職 員 ・ 公 立 小 学 校 ・ 公 立 認 定 こ ど も 園 ・ 私 立 幼 稚 園 ・ 私 立 保 育 所 ・ 私 立 児 童 養 護 施 設	私 立 学 校 事 務 ・ 私 立 小 学 校 ・ 私 立 認 定 こ ど も 園 ・ 私 立 幼 稚 園	福 祉 ・ 医 療	進 学	所 ・ 官 公 庁 ・ 福 祉 ・ 医 療	契 約 職 員 （ 公 私 立 の 小 学 校 ・ 認 定 こ ど も 園 ・ 幼 稚 園 ・ 保 育 所 ）	自 営 ・ そ の 他
国文学科	25	12	1	0	2	1	6	3			
子ども学科	47	0	6	23	1	0	12	3			

※進路未決定者が子ども学科に2名おり、引き続き支援を行っている。

(4) 社会活動（大学開放）の状況

1. 湖国カルチャーセンター

新型コロナウイルス感染症感染拡大のため対面による全事業を中止。対面講座に代わる体験講座（オンデマンド動画）を各学科へ依頼し作成し、本学ホームページ内「湖国カルチャーセンター紹介動画」に掲載した。令和4年度は、対面講座を実施予定のため、コロナ禍におけるガイドラインの策定を行った。

2. ぶんぶんひろば開催状況・内容

開催の計画立案、案内はしたが、新型コロナウイルス感染症感染予防のため、中止した回や、動画作成のみで終えた回があった。

回	日時 (計画段階)	内 容 (テーマ)	参加学生		参加者	
			2年生	1年生	子ども	大人
1	5月19日	ふれあい遊び	15			
2	7月14日	身体を動かして遊ぼう	16		8	8
3	8月25日	水遊びをしよう				
4	10月6日	ミニ運動会				
5	11月17日	さわって遊ぼう				
6	12月15日	お楽しみ楽器遊び				
7	12月4日	音楽リズムや劇・遊び発表	47		16	17

※第1回は、開催中止となり学生の活動を動画撮影して終えた

※第2回は、感染予防のため人数制限を行った ※第3回～第6回は中止

(5) ボランティア活動

平成27年度、本学と長浜市、長浜警察署と交通安全推進活動に関する三者協定を締結した。

令和3年度、コロナ禍においても、感染対策等が講じられるボランティア案内を中心に、大学HP内「課外活動」専用サイトを使用して学生への情報提供、参加学生のフォローアップに努めた。また、コロナ禍で減少しているボランティア依頼について、大学推奨制度を利用した「大学推奨の活動」とすることで学生の積極参加を促した。

それに伴い、コロナ禍ではあったが、協定に基づく交通安全ボランティア等への参加実績がある。

(6) 地域社会との交流

1. 長浜市と滋賀文教短期大学との協力に関する包括連携協定による交流活動

長浜市・短大の協力関係を拡充し、地域社会の発展に寄与するため、教育・保育に関する事業、文化の振興に関する事業など多角的に協力し実施するため協定を平成27年度に締結し、保育就職フェア等を開催するとともに、大学の教育への助言を受けた。

2. 長浜市と長浜警察署及び滋賀文教短期大学との交通安全推進活動に関する連携協定による活動

交通事故防止のために一体となって活動し、交通安全意識、交通マナーの高揚を図り地域社会の安全に寄与することを目的に締結し、交通安全ボランティアを組織し活動を計画した。

3. びわ湖東北部地域連携協議会への参画

後述の通り、近隣大学の長浜バイオ大学、聖泉大学、滋賀大学、滋賀県立大学と、地方自治体である滋賀県、長浜市、米原市、彦根市、また長浜商工会議所、彦根商工会議所と連携し地域社会の活性化に向けて様々な企画や事業の実施に取り組んだ。特に、「びわ湖東北部地域生涯学習講座」においては、これまで地域より、要望の多かった子育てや福祉の分野に加えて、語学・文学・映画上映など幅広い層に関心をもってもらえるような講座を計画した。また、「まちの魅力発信プロジェクト①音楽を通じた多文化共生のまちづくり紹介動画」においては、長浜市市民活躍課、長浜市民国際交流協会、滋賀県総合企画部国際課、彦根市企画振興部企画課、米原市多文化共生協会との連携により、多文化共生を目指した地域の様々な取組みを紹介するためのプロモーションビデオを制作しYouTubeに公開した。（※本学主体での実施事業一覧は後述）

(7) 国際交流活動

1. 留学生の受け入れ

令和3年度は、在籍留学生は0名であった。

令和4年度に向けた募集活動については、JASSOのWEB留学フェアに参加し、これまでのタイ国以外の国々に向けても募集を行った。その結果、1名の出願・入学予定者を獲得することができた。また、フェアには数名の参加者があったため、学生募集において有効な手段であることが確認できた。

その他、令和元年度から実施しているタイ国サハビット幼稚園との海外インターンシップ・プログラムも事業化している。結果的に、新型コロナウイルス感染症により、WEB開催となり、参加者0名ということであったが、事業化に際し、サハビット幼稚園関係

者と本学子ども学科教員が WEB 懇談を実施し、大学及び教員間における国際交流に成果があった。

(8) 学生募集活動

令和3年度の学生募集活動は、継続課題である、募集エリアにおける認知度向上から志願者獲得に向けて、各種広報活動(①オープンキャンパス②ガイダンス③高校訪問等)に取り組んだ。

昨年に続きコロナ禍により募集制限(ガイダンスや高校訪問中止)がかかる部分もあったが、広域募集を展開する上で、SNS 広告の導入や HP の定期情報更新に努めた。定時制や通信制高校への案内を継続することで、遠方からの志願者が高まる傾向となる一方で、県内(中部から南部)地域から安定的に志願者獲得できていないのが現状である。今後、広域への案内を強化する一方で、県内(中部から南部)募集の強化も同時に進めていく。

【入試結果】(令和4年度入学生)：()は男性数 (単位：人)

	入学定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
国文学科	50	25 (4)	25 (4)	24 (4)	23 (4)
子ども学科	50	53 (5)	51 (4)	50 (4)	47 (4)
計	100	78 (9)	76 (8)	74 (8)	70 (8)

(注) 志願者数、受験者数、合格者数、入学者数には委託訓練生も含む。

(注) 入学者数は、令和4年4月1日時点。

(9) 教員研究の状況

1. 教員研究

研究計画に基づき専任教員が申請することにより、学長の承認を得て、自らの専門分野における学術研究・教材研究に要する経費として、教授には7万円、准教授には6万円、講師には5万円、助教には4万円まで支給した。また、論文執筆に係る加算研究費は16人、21本で計40万円であった。(紀要論文の執筆も含む)

外部資金を活用しての研究業績は、令和元年度に日本学術振興会の科学研究費助成事業の若手研究で1件採択され、令和3年度迄継続して研究を行っている。また、共同研究者として関わるなど外部資金獲得に留まらず、社会的な信用や存在感を高めることとなった。

2. 紀要の発刊

各学科で論文の執筆、共同研究を行い、年度紀要を発刊した。

◇令和3年度紀要 執筆者12名 論文15編

本学機関リポジトリ「滋賀文教短期大学リポジトリ」にて公開している。

(10) 図書館の状況

1. 図書館利用状況

貸出人数	貸出冊数	受入冊数	奉仕対象者
1230人	2364冊	1240冊 (注)受入冊数の内訳 保管 18冊 購入 864冊 寄贈 358冊	209人 (注)奉仕対象者は、在学生(143人)、科目等履修生(2人)、教職員(62人)、学外者(0人)、その他(2人)を指す。

2. 広報・展示、その他

- ・読書推進スタンプラリー実施
- ・「図書館だより」4回発行
- ・「へろへろ通信」9回発行
- ・テーマ別資料展示11回実施
- ・「図書館のおすすめ本」10回発行
- ・図書館公式アカウント Twitter による情報発信 86回
- ・POP・本の帯コンクール(PF事業)実施
- ・遠隔授業対応の学生への郵送貸出サービス実施

(11) 施設・設備の状況

- ・401教室アクティブラーニング室にポータブルの音響設備を設置
 - ・全学生へのChromebook配布(遠隔授業対応)
 - ・遠隔授業配信用のオーディオインターフェースを導入
 - ・WEBシステムGoogle Workspace導入(継続)、Microsoft office365導入(継続)
 - ・要所へのアクリル板等感染予防備品追加購入
 - ・新校舎建設決定
- その他、学内環境整備のための環境整備を行った。

(12) 改革総合支援事業について

平成27年度にタイプ2の採択を受け、毎年度学内改革に取り組み令和3年度においては、タイプ3「びわ湖東北部地域における学術文化教育基盤を目的とした大学・短期大学・地域連携プラットフォーム事業」の採択を受けた。今後も学内改革のため、教職員一体となって取り組んでいくこととしている。

また、特にタイプ3で採択を受けたびわ湖東北部地域連携協議会の活動に置いてリーダー校の一翼を担い、社会貢献を果たした。

3 岐阜第一高等学校

(1) 教育活動

1. 学科、コースの特徴

設置学科は普通科、工業科で、普通科は3コース、工業科は2コースに分けている。今年度は男女共学化の5年目となる。

【普通科】

◎カレッジコース（3年）

カレッジコースは国公立大学、難関私立大学への進学を目指すコースである。

1クラス20名前後の少人数編成をとり、習熟度別授業や自習スペースを利用した個別指導などを通じて、一人ひとりの進路希望に合わせた学習指導を行っている。なお、コース改編により2020年度から新入生を受け入れていない。授業外の学習指導として、具体的には朝学習、放課後補習、スタディサプリ（リクルート）による動画を用いた学習、夏季・冬季の講習、教科ごとの個別指導が挙げられる。壁で仕切られておらず生徒に開かれた職員室とそれに隣接した自習室を備え、落ち着いた学習環境で指導を行っている。また、生徒自らが積極的に進路目標を選択できるように、進学説明会、進路ガイダンス、三者懇談、卒業生と語る会などの行事を通じて、保護者も交えた進路支援を行っている。それらの指導を通じ、新しい大学入試制度に対応できる高度な学力と豊かな学究心の育成に努め、総合型選抜など多様化する受験に即応できるよう指導体制を整えている。

◎プログレスコース（3年）

四年制大学・短期大学・専修学校への進学を目指し、徹底した基礎教育により学習習慣を身に付けると同時に、進学後にも生きる力を育成している。カレッジコースと同様に、コース改編により2020年度から新入生を受け入れていない。具体的な学習指導としては、週2日間の7時間授業に加え、スタディサプリ（リクルート）による学習動画やWEBテスト、放課後の自主学習を実施しており、2年次からの文系・理系の選択、さらに習熟度別クラス編成による授業などによって、生徒が理解を深めるための授業体制を整えている。また、生活指導を通じて基本的な生活習慣を身につけさせ、社会問題に幅広い関心を持ち、向上心を持った生徒の人材育成に努めている。

◎特別選抜コース（1・2年）

創設2年目となり、今年度は3名の新入生を迎えた。今年度2年生の1名を加えて計4名のコースである。国公立大学や難関私立大学への進学を目標としており、前身のカレッジコースよりも充実した、きめ細やかな指導体制を敷いている。その一例として、躓きやすい生徒が多い数学、英語の二教科に関して個別授業を実施している。ただし、当コースの生徒が少数であるという現状を鑑み、後述の特別進学コースの生徒と合わせたクラス編成となっている。なお、今年度を持って募集を停止し、来年度からは新たにカレッジコースとして国公立大学・難関私立大学進学を目指すコースとして再編される。具体的な授業外学習としては、朝学習、放課後補習、スタディサプリ（リクルート）による動画を用いた学習、夏季・冬季の講習、教科ごとの個別指導を行っている。壁で仕切られておらず生徒に開かれた職員室とそれに隣接した自習室を備え、落ち着いた学習環境で指導を行っている。また、生徒自らが積極的に進路目標を選択できるように、進学説明会、進路ガイダンス、三者懇談、卒業生と語る会などの行事を通じて、保護者も交えた進路支援を行っている。それらの指導を通じ、新しい大学入試制度に対応できる高度な学力と豊かな学究心の育成に努め、総合型選抜など多様化する受験に即応できるよう指導体制を整えている。

◎特別進学コース（1・2年）

創設2年目となり、今年度は7名（男子3人、女子4人）の新入生を迎えた。国公立大学を主軸とした四年制大学への進学を目標としており、特別選抜コースと

同様の取り組みを行っている。上述の通り、特別選抜コースと同様の授業を行っている。そのため、授業内容としては特別選抜コースと同等の難度で実施している。具体的な授業外学習としては、朝学習、放課後補習、スタディサプリ（リクルート）による動画を用いた学習、夏季・冬季の講習、教科ごとの個別指導を行っている。壁で仕切られておらず生徒に開かれた職員室とそれに隣接した自習室を備え、落ち着いた学習環境で指導を行っている。また、生徒自らが積極的に進路目標を選択できるように、進学説明会、進路ガイダンス、三者懇談、卒業生と語る会などの行事を通じて、保護者も交えた進路支援を行っている。それらの指導を通じ、新しい大学入試制度に対応できる高度な学力と豊かな学究心の育成に努め、総合型選抜など多様化する受験に即応できるよう指導体制を整えている。

◎総合進学コース（1・2年）

創設2年目であり、今年度は49名（男子23名、女子26名）の新入生を迎えた。四年制大学から専修大学まで幅広い進学先に対応できるよう、徹底した基礎学力指導を行っている。そのために、授業の理解を深めるためのICTツールを用いた授業やスタディサプリ（リクルート）による動画学習などを行っている。

◎スポーツコース

硬式野球（男子）・サッカー（男子）・自転車（男女）・スキー（男女）・バレー（女子）・女子硬式野球（女子）が、最高の環境と充実したプログラムにより全国レベルのトップアスリートの育成をしている。今年度は81名（男子58名、女子23名）の新入生を迎えた。独自の強化プログラムでは、部活動に取り組む時間を十分に確保し、週5日間のうち3日間は5限・6限目をスポーツコースの専門体育の時間として部活動を実施している。文武両道を実践できる環境と指導体制により、特技を生かして4年制大学の進学や就職と進路選択が可能である。高度な技術と強靱な体力を養うことはもちろん、好きなスポーツを追求することで、生きる指針をつかみ取る。今年度はスキー部が北京五輪銅メダル獲得、ワールドカップ優勝2回（スノーボード）、卒業生も北京五輪モーグル競技で銅メダル獲得した。自転車部ではインターハイ・選手権ともに個人優勝、バレー部はインターハイ予選準優勝、春高バレーの岐阜大会で3位、男子野球部は春季大会準優勝。秋季大会3位で春・秋と東海大会に出場し3期連続となった。また、日本ハムにドラフト指名され入団を果たした。女子野球部でも西武ライオンズ・阪神タイガースに2名入団となった。サッカー部はスポーツコースの強化部として2年目を終え、着実に力をつけて、上位進出している。

【工業科】

◎自動車エンジニアコース

自動車の原理や構造、法令から整備に至るまで、さらにハイブリット車など時代の変化に合わせて電気制御や電装などの確かな知識と技術を磨き、業界から必要とされる優秀なカーエンジニアを育成している。今年度は37名（男子35名、女子2名）の新入生を迎えた。実践に近い環境（ビーグルシミュレーションテスターによる自動車性能試験や4輪ホイールアライメントテスター、故障診断機等）で現場に即した専門スキルを体験することができ、社会で活用できる最先端の授業を展開している。また、卒業と同時に自動車整備士3級（実務経験免除）の受験資格が取得できる。優良企業への就職はもちろん、指定校推薦などを利用した自動車の短大・専修学校への進学も可能である。部活動で自動車部が省エネカー、アイデアロボット部が電気自動車を製作し、各大会に出場している。

◎生産システムコース

電気・電子・情報・機械などの座学や実習により製品が生産されるまでの設計・生産・管理について幅広いスキルを身に付け、日々進化する業界のニーズに対応した技術者を育成している。今年度は41名（男子40名、女子1名）の新入生を迎えた。熟練技術者を講師に迎えた実技指導も取り入れより実践的なスキルの習得により技能検定や電気工事士といった国家資格も取得できる。実習ではコースに適し

たメカトロニクス技術実習装置を新たに導入し模擬生産ラインを構築させ制御できる技術を身に付けさせる。自動車産業や航空機産業などの幅広い業種への就職、指定校推薦などを利用した4年制大学・短大・専修学校への進学も可能である。部活動で電子機械部が教育支援用ロボットによるプログラミング制御の取り組みや電子工事士の資格取得を実施、ものづくり部で技能検定2級機械加工技能士を輩出している。

2. 特色ある学校づくり及び特別補助金事業の内容

①特色ある学校づくり

1) SA（スクールアSEMBリー）の実施

全校生徒と教員が一体となり、建学の精神である「知・徳・体」の鼎立を図る。

2) 父子卒業記念表彰

3) 「ひびきあいの活動」の実施

今年度は、「異文化交流における相互理解への気づき」を深めさせることを目的とした活動を行った。

4) 教育相談（SC）の継続的实施

実施 計14回 延べ36名

5) 地域に開かれた学校づくり

・2021年5月、糸貫川の清掃活動の実施

・同8月、「夏休み親子わくわく体験」の計画（感染症対策を鑑み中止）・「エコキャップ回収活動」への参加

・MSリーダーズによる啓発活動

（非行防止、自転車盗難防止、防犯登録の呼びかけ及びパトロール）

・コートジボワールへ友好協会を通して3年生が卒業時に体育館シューズと運動靴を寄附

・生徒会によるコロナの感染拡大防止の昼休みの放送

②特別補助金事業

学校特色化支援事業（教育改革推進特別補助事業）は電子黒板等ICT教育環境を整備することを目的に実施し、校内全域での無線LANの使用と全教室での電子黒板システムの使用が可能となった。また全生徒への学習用端末の貸出整備も完了し、ICT教育環境整備3年計画の完成年度となった。

(2) 生徒指導の状況

1. 年間目標

年間指導目標については下記の5点を平成25年度からの継続目標として設定し、建学の精神に基づいた生徒指導の実践を目指した。

①豊かな人間性と社会性を備えた生徒を育成するために、職員の共通理解と共通行動を徹底する。

②社会の一員としての自覚を持たせ、倫理観や規範意識を育てる。

③基本的生活習慣の確立

④いじめ未然防止と早期発見に努め適切な対応をする。

⑤生命を大切に作る心や態度を育てる。

2. 職員申し合せ事項

①職員の意思統一と共通行動

②クラス担任を中心とした生徒指導

③遅刻・欠席をなくす。

④生徒の問題点を見逃さない

⑤挨拶の励行

⑥保護者との連携

3. 具体的取り組み

- ①生徒サポートアンケート
- ②教育相談（SC）の継続的实施
- ③マナー講座
- ④登下校指導
- ⑤交通講話
- ⑥生徒の取り組み
 - 1)生徒会執行部・各委員会活動
 - 2)MS リーダーズ
- ⑦文化祭
- ⑧服装・頭髪・身だしなみ指導
- ⑨携帯電話の指導に関する指導
- ⑩寮生活指導
- ⑪特別指導
- ⑫薬物乱用防止講座

（3）進路指導の状況

1. 方針

- ・生徒一人一人に対してきめ細かく、一貫性を持った進路指導を行う。
- ・生徒が目標とする進路を実現するだけでなく、卒業後上級学校での勉強や職場での仕事に対応できる学力とコミュニケーション力の育成を図る。
- ・進路指導を3年生の進学・就職の指導に限定せず、入学後から3年間を通じて行う。
- ・学校教育全体の中で進路指導を行うために、全職員の共通理解と協力体制のもとで指導の充実を図っていく。

2. 内容

①学年別の指導

< 1 学年 >

- 1) 基本的な生活習慣と学習習慣の確立
- 2) 「分野別ガイダンス」の実施

< 2 学年 >

- 1) 学部別模擬授業
- 2) 進学講話

< 3 学年 >

- 1) 進路指導部と外部講師による進学希望者対象の面接指導
- 2) 進路指導部とハローワークによる就職希望者対象の面接指導
- 3) 履歴書・志望理由書の作成指導
- 4) 大学入試説明会

< 全学年 >

- 1) 夢ナビライブ
 - 2) 一般常識テキストによる基礎学力の定着・向上
- ②進路ニュースの発行（No. 1～5）
 - ③進路指導室への入退室のマナーを通しての基本的な生活習慣の指導
 - ④進学や就職の情報提供

3. 卒業生の進路状況

進学							就職	未定	合計
国公立大	私立大	短大	大学校	専修学校	他	進学計			
8(3)	66(25)	10(6)	4(0)	31(13)	1(1)	120(48)	45(12)	4(2)	169(62)

※表（ ）内は女子を表す

(4) 教科外活動

1. 部活動一覧

【運動部】硬式野球・女子硬式野球・女子バレーボール・自転車・スキー・サッカー
ラグビー・女子ラグビー・卓球・ソフトテニス・バスケットボール
女子バスケットボール

【文化部】吹奏楽・美術・書道・写真・演劇（放送）・園芸・箏曲・茶道・コーラス
パソコン（工業）・自動車・ものづくり・電子機械・アイデアロボット

2. 令和3年度の主な成績（県大会ベスト4以上）

○男子硬式野球部

第68回春季岐阜県高等学校野球大会 準優勝
第74回秋季岐阜県高等学校野球大会 3位
第29回岐阜県私立高等学校親善野球大会 準優勝

○女子バレーボール部

令和3年度第14回県高校スプリングチャレンジカップ 優勝
令和3年度県高校総体兼全国・東海高校総体バレーボール競技予選 準優勝
（東海高校総体 出場権獲得）
第74回全日本高等学校選手権大会県代表決定戦 3位
令和3年度岐阜地区高等学校総合体育大会バレーボール競技 優勝
令和3年度岐阜県私立高等学校男女バレーボール選手権大会 兼
全国私立高等学校男女バレーボール選手権大会岐阜県2次予選大会 優勝

○自転車部

令和3年度岐阜県高等学校総合体育大会
学校対抗男子・女子
4kmチームパーシュート/女子タイムトライアルロードレース/ 優勝
500mタイムトライアル/2km個人パーシュート/ケイリン/ 優勝
4km速度競走/ポイントレース/スプリント/ 優勝
1kmタイムトライアル 優勝

第68回東海高等学校総合体育大会

500mタイムトライアル 優勝
2km個人パーシュート/女子個人ロードレース/4km速度競走/ 優勝
3km個人パーシュート 優勝
学校対抗 男子
500mタイムトライアル/2km個人パーシュート/ 2位
1kmタイムトライアル/4kmチームパーシュート/ 2位
女子個人ロードレース/ケイリン 3位

○スキー部

第69回岐阜県高等学校総合体育大会冬季大会スキー競技 兼
第71回全国高等学校スキー大会岐阜県選考会
大回転 女子 4位
回転 女子 4位
令和3年度全国高等学校総合体育大会第71回全国高等学校スキー大会

大回転 女子	DNF1	
第34回全国高等学校選抜スキー大会		
回転 女子	DNF1	
FIS スノーボードワールドカップ 2022	スイスクール	
ビッグエアー 女子		優勝
FIS スノーボードワールドカップ 2022	アメリカスチームボート大会	
ビッグエアー 女子		7位
Dew Tuor 2021	アメリカコッパー マウンテン	
スノーボード スロープスタイル 女子		3位
FIS スノーボードワールドカップ 2022	カナダカルガリー大会	
スノーボード スロープスタイル 女子		優勝
X-game 2021	アメリカアスペン	
スロープスタイル 女子		優勝
ビッグエアー 女子		優勝
2022北京オリンピック		
スロープスタイル 女子		10位
ビッグエアー 女子		3位
安比スピンマスタース スロープスタイル大会		
スロープスタイル 男子		8位
FIS スノーボードワールドカップ 2022	チェコスピンドリルフ・ムリン大会	
スロープスタイル 女子		優勝
FIS スノーボードワールドカップ 2022	スイスシルヴァプラーナ大会	
スロープスタイル 女子		優勝

○サッカー部

高円宮杯 G3 リーグ Bブロック		1位
-------------------	--	----

3. ボランティア活動

各クラスでの「挨拶運動」、生徒会主催の「世界の子どもたちにワクチンを届けるエコキャップ運動」、「コートジボワールに靴・文房具を送る活動」「糸貫川の清掃」などを通して、地域貢献や国際貢献についても意識を高めることができた。

4. 社会奉仕活動

MSリーダーズ194名が中心となり、交通安全啓発活動を本校南門で3回実施した。

(5) 校内清掃活動

1. 学校クリーン活動（新型コロナウイルス感染症拡大防止対策）

年度の始めと終わり、各学期の始業を迎える準備として、全職員で校内の清掃と備品や施設の点検・整備を実施した。

2. スポーツコースによる朝の清掃活動

スポーツコースに所属する部活生が自主的にコースの特性や運動選手としての心構えの一環として実施した。

(6) 命を守る訓練

1. 通報訓練・初期消火訓練・避難誘導訓練

(7) 地域社会との交流

1. 夏休み親子わくわく体験

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

2. 課題研究成果発表選考会

3. SDGs プロジェクト～足踏み消毒スタンド製作～

「持続可能な開発目標（SDGs）」の達成に繋げる取り組みとして、地元・本巢市民の健康の促進と安心な街づくりを目指し、コロナ感染症対策における足踏み消毒スタンド30台の製作を工業科で行い、本巢市の幼・小中学校や公共施設に配布した。

(8) 国際交流活動

1. 姉妹校提携先・提携内容

双方の自主性を尊重し国際親善を図り、教育・文化・スポーツ面での交流を推進し、友好協力関係を深めるために締結

Ipswich Grammar School（オーストラリア）

1989年（平成元年）12月8日 短期留学生・交換留学生・教職員の交流・スポーツ交流

St. Aidan's Girls' School（オーストラリア）

2016年（平成28年）9月1日 研修訪問・交換留学生・教職員の交流

Mater Dei School（タイ王国）

2019年（令和元年）5月2日 生徒の交流・教員及び他職員の交流・教育・文化・スポーツ交流

2. 留学生受け入れおよび姉妹校からの本校訪問・海外研修

昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症流行により中止

3. 学校季刊誌 SKY TALK の発行について

2021年7月、2021年12月、2022年3月の3回発行

(9) 生徒募集活動

1. 構成

今年度の入試渉外部は14名のスタッフを、中学校訪問担当、データ分析担当、渉外資料作成担当、HP更新担当に役割分担して構成した。入試渉外部会の企画・立案に関しては学校長・副校長・教頭・入試渉外部長・入試渉外部他2名で行い、その内容をスタッフに伝達し共有を図った。

2. 入学試験

コースを改編2年が経過して、志願者および入学者の結果が出せず、改めて3コース（特別選抜・特別進学・総合進学）の検討をした。

求める生徒像と教育内容をしっかりと踏まえ、また今までの進学実績も活かした上でのコース改編を行った。国公立大学に合格可能な基準まで幅を持たせたカレッジコースと、進学も就職も多様な進路実現が目指せる一般コースでの募集とした。

3. 取り組み

①中学校訪問

県内78校を2名の担当者で分担して訪問する新しい形態をとった。訪問は年間計画の定期考査の時期に合わせて4回訪問した

②夏季学校見学会

7月30日（金）、31日（土）、8月1日（日）、19日（木）、20日（金）の5日間開催した。

③体験授業・進学相談会

昨年度より取り入れた本校独自の体験授業・進学相談会を10月9日（土）に開催した。内容は5コース19項目の授業を、1コマ35分で2項目体験できるようにした。アンケート結果からもコロナ禍で体験授業に参加できたこと、高校で学ぶ授業が受けられたことに満足できたなどと評価が得られた。参加者数は中学生92名（前年比中学生19名減）であった。これはサッカー一部が当日公式戦で実施できなかった

ため、後日練習会を2日間開催して25名の参加があった。

④塾対象説明会

10月25日(月)、26日(火)2日間開催した。コロナ禍ということもあり地域別指定で開催し、本校が求める生徒像および入試基準を伝えることができた。参加者数76校80名であった。

⑤入試説明会

11月21日(日)、12月5日(日)の2日間開催した。内容は全体会で中学生や保護者が今一番知りたい入試情報に重点を置いて説明をした。また、推薦入試【単願】の奨学生基準についても初めての試みで紙面を配付して説明した。希望者による進学相談も現実味のある内容が多く寄せられた。参加者数は、中学生135名、保護者135名(前年比中学生4名減、保護者37名増)であった。

⑥中学校主催高校説明会への参加

コロナ禍ではあるが、26校(前年度比増減0)からの依頼があった。

⑦PTA来校

今年度はコロナ禍ということもあり、依頼は1件もなかった。

4. 入試結果

令和4年度入試は、志願者数が推薦入試【単願】204名(前年度比22名増)、一般入試【併願】633名(前年度比2名減)、合計837名(前年度比20名増)であった。昨年度と比較すると推薦入試【単願】が増加した。

(10) 教員研修

1. 校内研修

- 第1回 5月18日 「ICT研修」(学習支援ソフト:外部講師)
- 第2回 5月20日 「ICT研修」(校務支援ソフト:外部講師)
- 第3回 9月18日 「新型コロナウイルス感染症対策について」(Web:岐阜大学)
- 第4回 10月14日 「社会人マナー・クレーム対策について」(福田講師)
- 第5回 11月30日 「観点別評価について」(外部講師)

文部科学省がすすめる「ICTの活用の推進」を受け、昨年度に引き続き、教職員のICT活用力向上を図るため、ICT委員会を中心に多くの校内研修を実施した。また、学校の危機管理に関する研修や令和4年度入学生から始まる新しい評価(観点別評価)に関する研修も実施した。

2. 新採用者研修

- 第1回 4月5日 「就業規則等諸規定について・教員の職務について」
- 第2回 5月12日 「新採用者との懇談」
- 第3回 6月7日 「HR経営1について」
- 第4回 6月14日 「HR経営2について」

上記の研修に加え、それぞれの教科においても教科研修を随時実施することで、本校教職員としての資質向上に努めた。

(11) 施設・設備の状況

1. 施設の整備状況

- ・無線アクセスポイント設置
(松翠会館、第1・第3スポーツ寮、漸進館、グリーンハイツ)
- ・第1スポーツ寮間仕切り工事、寮前外構工事
- ・体育研修センター(第2スポーツ寮)取り壊し、新スポーツ寮建設(令和4年度完成予定)

2. 設備の整備状況

- ・検診用大型衝立セット(4台)
- ・オージオメーター
- ・高速カラーインクジェットプリンター(RIS0)

- ・モノクロページプリンター (3台)
- ・教室内電子黒板システム (10台)
- ・移動型電子黒板 (2台)
- ・撮影用カメラ
- ・ストリーミングミキサー
- ・演台
- ・作業デスク
- ・体育館映像設備
- ・ルームエアコン (2台)
- ・交流アーク溶接機
- ・スチールブックトラック

4 岐阜女子高等学校

(1) 教育活動

1. 学科、コースの特徴

設置学科は普通科、家庭科、食物科で、普通科は2コースに分けている。なお、家庭科は平成17年度より募集停止としている。

また、令和4年度入学生より、制服をリニューアルした。

①普通科文理科コース

文理科コースは、国公立大学、難関私立大学への進学を目的とし、少人数のクラス編成によるきめ細かな進学指導を実施している。平日は0限から放課後補習にあたるS.S. (Skill up Supported time の略) までの学習時間を確保している。さらに、長期休業中には2週間前後の補習授業を実施し、一人ひとりの高い目標の達成に向けて指導している。

②普通科一般コース

四年制大学・短期大学・専門学校等への進学を中心に幅広く多様な進路に対応する教育活動を展開している。姉妹校の滋賀文教短期大学への進学を見据えた、こどもの発達と保育、子ども文化などの科目を取り入れている。第1学年は基礎学力を身に付け、自己の適性を見極め将来の目標をたて、第2学年から各自の希望により進学または美術のいずれかの類型を選択し学習する。

③食物科

食品や調理に関する専門的な知識や技術を習得し、食物・調理のプロを養成する学科であり、国家試験免除で調理師免許が取得できる。和・洋・中の世界3大料理や集団給食、洋菓子の実習をはじめとした専門教科の学習が多い。卒業後の進路は、ホテルやレストランなどへの就職、栄養士や製菓衛生師等の資格取得を目指した短期大学・専門学校や、さらには、管理栄養士などを目指して四年制大学へ進学などである。

2. 特色ある学校づくり及び特別補助金事業の内容

①特色ある学校づくり

- ・寮における命を守る訓練 (4月9日)
- ・外部講師によるマナー講座 (4月22日)
- ・献血 (5月10日)
- ・3年生進路ガイダンス (5月21日)
- ・MSリーダーズによる交通安全啓発運動、挨拶運動 (5月24日)
- ・3年生進路講演会〔志望理由書の書き方と面接対策〕 (6月7日)
- ・交通安全教室 (6月11日)
- ・3年生模擬面接指導 (6月25日)
- ・遠足〔1年郡上市 2, 3年高山市〕 (7月20日)
- ・全館プロジェクター設置完了 (8月30日)
- ・休校措置によるオンライン授業 (9月6日～)
- ・2年生分野別進路ガイダンス (10月15日)
- ・学祭ウイーク (10月25日～29日)〔文化祭27日 体育祭29日〕
テーマ『桜梅桃李～色鮮やかな個性あふれる花を咲かす～』
- ・献血セミナーと献血 (11月1・15日)
- ・1年生分野別進路ガイダンス (11月19日)
- ・書道パフォーマンス (11月24日)
- ・3年生ライフデザイン講座 (12月3日)

- ・学年別テーブルマナー講座〔薔薇館・グランヴェール岐山・十八楼〕（12月14～16日）
- ・カルタ大会、新春書初め大会（1月14日）
- ・メイクマナー講座【オンライン】（1月21日）
- ・3年生食物科「感謝弁当」製作（2月2日）
- ・2年生修学旅行〔1泊2日奥飛騨方面〕（3月24・25日）
- ・各種資格検定取得の推奨
 実用英語技能検定試験、硬筆書写検定、毛筆書写検定、ビジネス文書実務検定、情報処理検定を推奨し、受験を促している。

②特別補助金事業の内容

- ・学校特色化支援事業（教育改革推進特別補助金）
 電子黒板用プロジェクター20台
 ICT教育の充実をテーマに、普通教室及び特別教室20教室に電子黒板用プロジェクターを導入した。8月末に岐阜県下に緊急事態宣言が発せられ約1ヶ月間オンラインや分散登校による授業実施の際には、電子黒板を活用し、各教室から授業配信を行い、各家庭から参加する生徒の様子を確認しながら授業を進めた。
 また、文化祭講演会やクラス動画発表などの学校行事では、各教室にライブ配信を行い、三密を避けた学校行事運営を行うことができた。
 電子黒板を活用し、より良い授業ができるよう教職員研修を重ねている。
- ・コロナウイルス感染症対策関連補助金
 校内及び寮の感染症対策実施
- ・学校保健特別対策事業費補助金(国庫補助金)
 感染症対策等の学校教育活動継続支援事業
 寮室用サーキュレーター 33台
 学校等における感染症対策等支援事業
 教室用サーキュレーター扇風機 25台
 フェイスシールドメガネ型 100個
 ニトリルグローブ他消毒作業用品
- ・岐阜県私学振興会 専門講師派遣事業費補助金
 ソフトボール部フィジカルトレーナー招聘
 文化祭記念講演会 たかまつなな氏講演会
- ・岐阜県私学振興会 各種教育振興助成金
 生徒・教職員ステップアップ研修事業
 教職員対象ビジネスマナー講座(福田恵依子氏)

(2) 生徒指導の状況

1. 基本方針、内容

本校の生徒として自覚を持ち、基本的な生活習慣を確立するなど規律ある高校生活を送ることを目標に、以下の生徒指導を行った。

- ・登下校時、校門、名鉄切通駅及び通学路での教員による立哨指導、風紀委員による交通指導を実施
- ・定期試験期間中の下校時に、教員が生徒と一緒に電車に乗車し、乗車マナーを指導するとともに、名鉄岐阜駅とJR岐阜駅では下校補導を行った。
- ・遅刻者に対する指導
- ・クラスの代表者による校門での挨拶運動の指導
- ・防犯ブザーを生徒全員に携帯させる指導

- ・自転車通学者の登録、点検、指導

また、MSリーダーズ活動は、高校生が警察の支援を受けながら「生徒による、生徒のための非行防止・規範意識啓発運動」に取り組む自主的な活動であり、本校では生徒会と協力して通学路の交通安全活動、挨拶運動を行った。

(3) 進路指導の状況

1. 基本方針

人や社会への興味・関心を啓発し、適正な自己理解を支援する。また自らの進路を選択決定できるような個性の伸長を図る。人間の生き方について自覚を深め、自主的に自己の将来に向かって努力する意欲を養い、健全な職業観を育成する。

2. 取り組み

文理科コースは0限や放課後・夏期・冬期・春期の補習授業を実施し、徹底した個別指導のもとで各自の能力を最大限に引き出し、全員が国公立大学・難関私立大学への現役合格を目指した。

一般コースはそれぞれの類型で学習したものを生かし、四年制大学・短期大学・専門学校への進学や就職の指導を実施した。

食物科は3年間学習した専門的知識と技術が生かせる四年制大学・短期大学・専門学校への進学や就職の指導を実施した。

- ・ 4月 学年別
進路オリエンテーション [進学・就職の流れと推薦応募者の推薦基準説明]
- ・ 5月 2年生一般コース・食物科
進路講演会「志望理由書の書き方」
- ・ 5月 3年生
学校別進路ガイダンス(大学等講師招聘)
- ・ 5月 3年生一般コース・食物科
模擬面接指導(大学等講師招聘)
- ・ 6月 3年生一般コース・食物科
進路講演会「進学の心構えと面接・小論文対策」
- ・ 7月 3年生就職希望者
就職ガイダンス
- ・ 10月 2年生
分野別進路ガイダンス(大学等講師招聘)
- ・ 11月 1年生
体験型進路ガイダンス(大学等講師招聘)
- ・ 12月 3年生一般コース・食物科
ワーク・ライフバランス講座(企業講師招聘)
- ・ 1月 3年生一般コース・食物科
メイク・マナー講座(専門学校講師)【オンラインで実施】

3. 卒業生の進路状況

令和3年度は進学率72%、就職率26%であった。(単位:人)

進 学					就 職	そ の 他	合 計
国公立大	私 立 大	短 大	専各学校	進 学 計			
6	50	12	25	93	33	3	129

その他の内訳 受験浪人1名、フリーター2名。

4. 高大連携(滋賀文教短期大学)の推進

- ア) 2, 3年生普通科一般コース進学類型 令和3年6月
幼児保育の知識技術の習得
- イ) 3年生保育・文学希望者 学校別進路ガイダンス 令和3年5月
- ウ) 2年生保育・文学希望者 分野別進路ガイダンス 令和3年10月
- エ) 1年生保育・文学希望者 体験型進路ガイダンス 令和3年11月
- ウ) 1～3年生希望者 三者懇談後の進学相談 令和3年8月【Zoomによる】

(4) 教科外活動

・部活動一覧

運動部 : バスケットボール、ソフトボール、バレーボール、テニス、卓球

文化部 : 琴、書道、吹奏楽、美術、フードクリエイト

・令和3年度はバスケットボール部、ソフトボール部が岐阜県競技力向上対策本部より競技力強化指定を受ける。

・バスケットボール部が全国高等学校総合体育大会で3位、3×3 U18大会で初出場し、初優勝を果たした。

①運動部の主な競技成績

○岐阜県大会	バスケットボール部	岐阜県高等学校総合体育大会	優勝
	〃	岐阜県高等学校バスケットボール選手権大会	優勝
	ソフトボール部	岐阜県高等学校総合体育大会	準優勝
	〃	岐阜県高等学校新人大会	準優勝
○東海大会	バスケットボール部	東海高等学校総合体育大会	優勝
	〃	3×3 U18中日本大会	グループ1位
	ソフトボール部	東海高等学校総合体育大会	優勝
	〃	中日本総合女子ソフトボール大会	3位
○全国大会	バスケットボール部	3×3 U18日本選手権	優勝
	〃	全国高等学校総合体育大会	3位
	〃	全国高等学校バスケットボール選手権大会	ベスト8

②文化部の活動実績

- ・美術部 羽島市美術展 秀作・青年賞・入選
- ・書道部 長良天神神社書道展 県教育委員会賞・市議会議長賞
奨励賞・佳作・金賞
- 高校生国際美術展 佳作
- 岐阜女子大学全国書道展 特賞・優秀賞・秀作賞・努力賞
- 岐阜県高等学校総合文化祭書道展 奨励賞
- ふれあい書道展 特選・奨励賞・敢闘賞
- 長良天神書初め書道展 應天堂賞・秀作・奨励賞・佳作・金賞
- ・吹奏楽部 中部日本個人・重奏コンテスト岐阜県予選 金賞
- ・食物科 鶏卵・鶏肉料理コンクール グランプリ・優秀賞
- ・清流の国ぎふおすすめの1冊コンクール紹介文部門 銀賞・奨励賞・フレッシュ賞

(5) ボランティア活動

生徒会が主体となり世界の子どもたちにワクチンを届けるエコキャップ運動を継続した。また、新たな活動としてLIONが実施しているリサイクル活動で使用済歯ブラシの回収に協力するため、全校生徒に呼び掛けた。

(6) 社会奉仕活動

普通科進学類型の総合探究の授業で滋賀文教短期大学と高大連携授業を実施し、七夕にちなんだ壁面飾りを制作し、保育園や子供支援センターに寄贈した。

(7) 地域社会との交流

生徒会とMSリーダーズが協力して通学路の交通安全活動、挨拶運動を行った。この運動の結果、地域住民の安全に対する意識の向上がみられ、声かけをしていただけるようになった。また、生徒も地域の人たちに対して自然に挨拶ができるようになった。

(8) 国際交流活動

1. 海外姉妹校提携先

・セントエイダンス高校（オーストラリア）

2. 留学生の受入れ（2名）

・セネガル：1年生、2年生

(9) 生徒募集活動

1. 主な募集活動

① 渉外（生徒募集）担当者8名（中学校訪問は6名）が、募集定員の充足という目標を達成するために次の内容で募集活動を行った。

・中学校訪問は、岐阜地区を中心として、過去の実績により活動した。また、愛知県の近郊の中学校（尾張地区を中心）も重要地区として捉え活動を行った。

・こまめな訪問活動を心がけ、一つでも多くの情報を提供できるようにした。

・高校説明会を14校、出前授業を3校で実施した。また、羽島中学校においては、昨年に引き続きZOOMを利用した説明会を行った。

② 中学生を対象とした見学会等を次のように実施した。

・6月及び夏季見学会・個別相談

6月5日、6月12日、7月31日、8月1日、8月21日、8月22日

・部活動体験会 8月3日（バスケットボール部）、8月4日（ソフトボール部）

・秋季見学会・個別相談 11月13日、11月27日、12月4日

・進学相談週間 11月24日～12月10日

③ 私立高校合同説明会に参加した。

10月1日岐阜地区、10月5日可茂地区、10月8日西濃地区

④ 学習塾対象説明会を本校にて実施した。

10月14日 94名参加

⑤ 一宮地区中学生対象岐阜県私立高校入試説明会に参加した。

10月2日

⑥ 中学生イラスト・絵画コンクールを実施し、656点の応募があった。

10月13日、最優秀賞1点、優秀賞3点、学校長賞1点、審査員特別賞1点、奨励賞13点、佳作121点を選出。コロナ禍のため、入賞者のみを展示し、入賞者の学校に出向き学校長より表彰。

(10) 教員研修の状況

1. 職員研修

・「社会人としてのマナー」（8月18日）

・「ファシリテーション研修」（8月24日）【中止】

- ・「SD研修」(2月9日)
- ・「滋賀文教短期大学学科等説明会」(2月15日)

2. ICT研修会

- ・ロイロノート活用方法(4月17日)
- ・電子黒板使用方法(8月31日)

(11) 施設・設備の状況

1. 施設の整備状況

- ①本館・北館空調設備(GHP)更新工事
- ②北館学生ホール女子トイレ排水管修繕工事
- ③体育館火災報知設備改修工事
- ④北館屋上防水・階段他修繕工事
- ⑤A寮建替工事(まな鶴館令和4年3月完成引渡)
- ⑥懸垂幕2基(3年生卒業記念品)

2. 設備の整備状況

- ①電子黒板用プロジェクター 2台購入
- ②美術類型デジタル作品制作用 iMac 2台 iPad 2台購入
- ③図書館システム「情報館」導入
図書館用パソコン・蔵書点検用ハンディターミナル購入
- ④電子黒板用プロジェクター 20台購入(学校特色化支援事業)
- ⑤固定折り畳み式バスケット装置交換 2面分
- ⑥生徒用机椅子 254組更新
- ⑦寮3棟無線アクセスポイント(Wi-Fi)取付
- ⑧新寮まな鶴館食堂用ダイニングテーブル等購入
- ⑨新寮まな鶴館寮室ベッド・学習用机・椅子等購入
- ⑩寮室用サーキュレーター33台購入(学校保健特別対策事業費補助金)
- ⑪三菱サーキュレーター扇風機25台購入(学校保健特別対策事業費補助金)
- ⑫事務用パソコン2台購入
- ⑬寮用洗濯機3台購入
- ⑭図書240冊(購入分191冊、寄贈分49冊)